

ひとりぼっちをなくそう



社会福祉法人 広島聴覚障害者福祉会



アイラブ作業所

ろう重複障害者を受け入れている作業所です。ろう重複障害とは、聴覚障害(ろう)に加え、視覚、知的、精神、運動機能などの障害を併せ持っています。昔は、“ろう重複障害”という言葉もなく、専門の施設もありませんでした。施設に入っても、ろう重複障害者は音声言語中心の環境の中では孤立しがちです。また、そのことを周りに上手く伝えるということもできません。コミュニケーション不足のために本人にとって十分な支援に結びつかなかったという現実もありました。

1999年4月、広島市中区吉島に「手話のある作業所」として誕生して以来、ろう重複障害のある仲間たちが毎日元気に通っています。手話で伝え、手話で語り合う中で、一人ひとりが生き生きと心豊かに生活していけるよう、作業や様々な活動に取り組んでいます。

私たちは「ひとりぼっちにしない」を合言葉に、アイラブ作業所に通うろう重複障害者やろう高齢者をはじめ、誰もが地域で安心して生活し、一人ひとりが大切にされる社会をめざします。

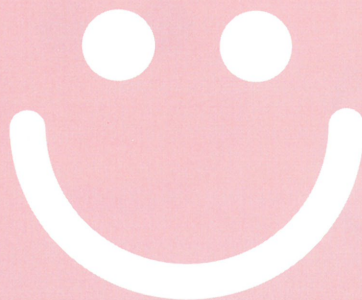


〈お問い合わせ先〉

ご利用のお問合せ、見学などございましたら
お気軽にお問合せください

アイラブ作業所

〒730-0823 広島市中区吉島西2丁目3番22号
TEL 082-248-0336 FAX 082-236-1144
E-mail rouchoufuku_iloove@bz04.plala.or.jp



就労継続支援B型事業

働く機会を提供し生産活動を通して、働くために必要な知識や能力の向上のために訓練し、豊かな生活を築いていけるよう5つの班に分かれ作業に取り組んでいます。

- 菓子工房

(クッキー・せんべいのお菓子づくり)

- 内職作業

(箱折り・バック詰め等の請負作業、中国新聞カープVバック作りなど)

- 解体作業

(小型家電の解体の請負作業)

- 縫製

(靴下わっかざぶとんや手芸などの製品づくり)

- 農作業

(廿日市市にある農園で、無農薬野菜を育て販売)

生活介護事業

施設内の清掃や野菜・花の水やり、軽作業など日常的な生活体験を積み、生活の幅を広げ、充実した毎日を送れるように取り組んでいます。

- 施設内の清掃

- 野菜や花の水やり

- 自主製品や請負作業の納品や販売活動

行事・文化活動

仲間・職員・ボランティアがみんなと一緒に楽しんでいます。

- ▼アイラブ作業所まつり

- ▼イベント販売

(地域のイベントで自主製品や野菜などの販売活動を行います)

- ▼お花見会

- ▼納涼会

- ▼旅行

- ▼忘年会

- ▼その他



障害者相談支援事業所 あいらぶ

障害のある方やそのご家族からの様々な不安や悩み等の相談をお受けし、地域で安心して生活していただくために必要なサービスをご利用していただけるようにお手伝いいたします。また、地域での生活を希望される方の相談にも応じ、入院(所)中から、そして退院(所)後も地域で安心して生活ができるようにお手伝いをさせていただきます。

基本方針

- ご利用者のプライバシーに十分配慮します。
- ご利用者の様々な権利を守ります。
- ご利用者の立場に立ったサービスの提供に努めます。

営業時間

月曜日～金曜日 9:00～17:00 (祝日・年末年始休業)

障害者相談支援事業所あいらぶ

〒732-0823 広島市中区吉島西2丁目3番22号

TEL 082-236-1116 FAX 082-236-6363

携帯 070-1366-7283

E-mail soudan@hirochoufuku.jp





ヘルパーステーション・ アイラブ

ヘルパーステーション・アイラブでは、地域の中での生活を望む身体障害児・者（視覚障害含む）、知的障害児・者、精神障害児・者にヘルパーを派遣し、日常生活における必要な支援を実施しています。また、介護保険法に基づく訪問介護・生活援助特化型サービスの支援も実施しています。

手話の通じるヘルパーに来てほしい!!の声にお応えしております。

専門の資格をもったスタッフが多数在籍。手話、触手話にも対応できます。

ヘルパーステーション・アイラブの出来ること

- 移動支援:送迎、余暇活動、買い物など
- 同行支援:視覚障害者(盲ろう者含む)に情報提供と移動の支援
- 居宅介護:自宅で家事援助や身体介護
- 訪問介護:65歳以上の方の自宅で家事、介護支援

ヘルパーステーション・アイラブ

〒730-0822 広島市中区吉島東1丁目20-19 2階

TEL 082-236-1327 FAX 082-236-6363

E-mail helper-ilove@bz03.plala.or.jp





放課後デイサービス 手と手の広場

放課後デイサービス 手と手の広場2

みんなが手話で伝わり合う環境の中で、異年齢の子どもたちが学び遊ぶことができる「ご近所」のような場所です。

支援内容

- ① 障害のある児童・生徒が苦手とする発音・発語指導をおこなう。
- ② 個別の状況に応じ、学習に必要な国語力を育成する。
- ③ 共に過ごす経験を多く持ち、コミュニケーション能力を向上させ聴覚障害者としての社会参加を支援する。

営業日：月曜日～金曜日 12:00～20:00

土曜日 9:30～16:30

但し、学校長期休業中は

月曜日～金曜日 9:30～17:30

また、学校行事等による時間変更があります。

休業日：毎週日曜日、祝祭日、お盆、年末、年始

放課後デイサービス 手と手の広場

〒730-0825 広島市中区光南2丁目10-8 1階

TEL/FAX:082-569-9868

放課後デイサービス 手と手の広場2

〒730-0822 広島市中区吉島東1丁目20-19 2階

TEL/FAX:082-298-6363

サービス提供時間

月曜日～金曜日 14:30～19:20

学校休業中 10:00～16:30



福祉社会をめざすもの

この法人は、聴覚障害児・者を主に、障害のある人たちの地域生活支援に関する諸事業を行っています。これらの事業は、コミュニケーション環境の整備を行うことにより、自立と社会参加をめざし、地域で安心して生活を営むことができるように支援します。また、福祉の増進を図り広く公益に寄与することを目的としています。私たちは県内に住む重複聴覚障害者や高齢聴覚障害者の「ひとりぼっちをなくす取り組み」をこれからも続けていきたいと考えています。

沿革

1997年(平成9年)6月、広島ろう学校の重複障害児を持つ母親から、卒業後の進路に「一般の作業所に入所しても、職員も仲間も手話が使えず作業所の中で孤立してしまう。ぜひ広島にも映画『どんぐりの家』のような手話の通じる作業所を作って欲しい」という声をきっかけに、ろう学校教員や手話相談員、PTAなどが集まり、月1回話し合いを持つ。

- 1998年(平成10年) 4月 「広島ろう重複作業所・施設作り準備委員会」設立。
- 1999年(平成11年) 4月 吉島東2丁目の民家を借りて、アイラブ作業所開所。週3日開所。
- 1999年(平成11年) 10月 心身障害者就労促進事業補助開始。
- 2001年(平成13年) 4月 週5日開所。
- 2003年(平成15年) 3月 中区吉島西に移転。
- 2005年(平成17年) 8月 アイラブ作業所後援会発足。
- 2006年(平成18年) 11月 第1回アイラブ作業所まつり吉島福祉センターで開催。
- 2008年(平成20年) 1月 特定非営利活動法人「広島聴覚障害者福祉会」設立。
- 2008年(平成20年) 4月 アイラブ作業所「地域活動支援センターⅢ型事業」スタート。
- 2010年(平成22年) 1月 ヘルパーステーション・アイラブ開所。移動支援事業開始。
- 2010年(平成22年) 4月 ヘルパーステーション・アイラブ「居宅介護事業」開始。
- 2011年(平成23年) 1月 アイラブ作業所「生活介護事業・就労継続支援B型事業」移行。
- 2011年(平成23年) 11月 「アイラブ作業所の社会福祉法人をめざす会」立ち上げ。
- 2012年(平成24年) 4月 ヘルパーステーション・アイラブ「同行援護事業」開始。
- 2013年(平成25年) 5月 放課後ディサービス「手と手の広場」開所。
- 2013年(平成25年) 6月 「介護保険訪問介護事業」および「介護予防訪問介護事業」開始。
- 2017年(平成29年) 4月 放課後ディサービス「手と手の広場(2)」を中区吉島東に開所。
ヘルパーステーション・アイラブも同じ場所に移転。
社会福祉法人広島聴覚障害者福祉会設立。
- 2018年(平成30年) 4月 アイラブ作業所が社会福祉法人に移行し、中区吉島西2丁目の新施設に移転。障害者相談支援事業所あいらぶ開所。
- 2018年(平成30年) 8月 ヘルパーステーション・アイラブ、手と手の広場1と2が
NPO法人から社会福祉法人に移行。

社会福祉法人 広島聴覚障害者福祉会

〒730-0823 広島市中区吉島西2丁目3番22号

TEL 082-248-0336

FAX 082-236-1144

<http://hirochoufuku.jp>